

# 北海道立図書館報

No.194

2013.3.28



## 資料展示会&トークショー「高山美香さんのちまぢま人形のせかい」

平成25年2月、札幌在住の高山美香さん（写真左上・左）の作品と当館所蔵資料による展示会と、御本人をお呼びしての楽しいトークショーを開催しました。（関連記事：p.6、9、14）

### 目次

・新しい「北海道立図書館事業推進計画」について	1
・平成24年度事業報告	
全道図書館研究集会	2
全道図書館専門研修	3～4
一般向け開催講座	5～6
市町村図書館職員レファレンス体験研修	7
展示を振り返って	8～9
・平成24年度全国優良読書グループ表彰・優良読書グループ北海道表彰	10～11
・平成24年度北海道立図書館協議会	12
・資料紹介～図書館学関係資料から～	13
・図書館を暮らしに生かす	
～高山美香さん（札幌在住イラストレーター）の図書館活用術を例に～	14
・道内図書館紹介 池田町立図書館「まちの文化・芸術活動の中心に」	15
・平成25年度事業計画	16
・平成25年度展示計画	17
・掲示板	18

# 新しい「北海道立図書館事業推進計画」について

当館は、平成20年度から「北海道立図書館事業推進計画」に基づき、図書館機能の充実や図書館振興施策の計画的な推進に努めてきましたが、この推進計画が平成24年度をもって終了することから、このたび、平成25年度からの推進計画を策定しました。

本計画は、「北海道教育推進計画」（平成20年度から10年間）、「北海道子どもの読書活動推進計画（第3次計画）」（平成25年度から5年間）の策定状況、「これからの図書館像」（文部科学省、平成18年）を踏まえるとともに、当館の運営の基本方針「図書館のセンターとしてー図書館の図書館ー」、「参考図書館としてー何でもわかる図書館ー」、「全域サービスの図書館としてー道民みんなの図書館ー」に基づいて、道民のニーズに対応する、図書館機能の一層の充実に努め、北海道全体の図書館活動を支える拠点としての図書館を目指すため、7つの施策目標を掲げ、取り組むこととしております。

策定に当たっては、策定の趣旨を計画に十分に反映させるため、平成23年4月に、道立図書館と教育庁生涯学習課とで「プロジェクトチーム」を立ち上げ、作業を進めて来ました。

施策目標は、「まちの図書館を応援します～市町村支援～」、「あなたの「知りたい」を解決します～課題解決型サービス～」、「あなたの生涯学習を応援します～道民向けサービス～」、「子どもの生きる力をはぐくみます～子どもの読書活動の推進～」、「北海道人の英知を現在・未来に活かします～北方資料サービス～」、「人・図書館・団体をつなげます～連携する図書館～」、「北海道全体の図書館サービスの向上を支えます～資料整備～」です。それぞれの施策目標には3つから5つの対応方向と主な取組を掲げるとともに、5年間の目標指標を示しています。

毎年度策定する「北海道立図書館運営計画」についても、本計画に基づいて事業、目標数値を掲げ、図書館サービスの一層の向上を目指します。

本計画は、各教育局を経由して各市町村教育委員会に通知するとともに、当館ホームページに掲載しています。

リンク先URL：<http://www.library.pref.hokkaido.jp/web/public/qulnh00000006t9.html>



## 平成24年度全道図書館研究集会

テーマ：「広域連携を探る」

期 日：平成24年10月18日（木）～19日（金）

会 場：札幌市中央図書館講堂

参加人数：26名

内 容：

- 1 基調講演「広域連携に挑戦する」今金町教育委員会教育長 中島 光弘 氏  
今金町教育委員会の多岐にわたる連携、中でも読書活動に関して、「本のふれあい便」、移動図書館車「ブックン」の広域連携など先進的な取組を例に、連携の意義等を提言。
- 2 実践発表1「後志の取組-ぶっくんプロジェクト」北海道教育庁後志教育局教育支援課 社会教育指導班社会教育主事（ニセコ町教育委員会派遣）青山智恵氏  
「広域による子ども読書活動推進により読書習慣の定着を図る」目的で設置されたニセコ町、蘭越町、真狩村の「ぶっくんプロジェクト」について、立ち上がりから現況を説明。
- 3 情報提供「市町村活動支援事業における広域連携について」  
発表者：北海道立図書館企画支援課企画主幹（子ども読書） 吉原 和夏子
- 4 実践発表2「根室管内図書館協議会の取組」  
発表者：根室市図書館奉仕主査 松永 伊知子 氏  
年間5回の研修を35年にわたって継続し、管内1市4町全体のスキルアップを図るとともに、情報交換により運営の向上に寄与してきた取組について説明。
- 5 グループ討議・情報交換「連携するならこんな切り口で」  
グループに分かれて、連携の状況等について交流を行いました。

図書館サービスの向上を図る方策のひとつとして、市町村間における図書館（室）活動の連携の可能性を探るため、連携の考え方や事例を発表いただき、情報交換を行いました。

「積極的な展開に刺激を受けた」（基調講演について）を始め、様々な取組や意見を聞くことができたといった感想が多く寄せられました。



（企画支援課）

## 平成24年度全道図書館専門研修

### 【児童サービス】

○期日：平成24年11月29日（木） ○会場：旭川市中央図書館 ○参加人数：77名

○日程：

説明「北海道教育委員会における子ども読書活動に係る取組について」

北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課主査 瀧澤 義守 氏

講演 「子どもの本の出版流通事情について」元福音館書店社長 塚田 和敏 氏

講義・演習 「読書の楽しさを伝える」旭川市立愛宕中学校教諭 加藤 直子 氏

子ども読書活動の推進のため、児童サービスに関する研修は毎年行っており、学校教職員も参加対象としています。この度は、開催地の旭川市から、学校図書館補助員の方々47名にも参加いただき、盛会となりました。

塚田氏の講演は、道と包括的な協定を締結した(株)三省堂書店の協力により実現したもので、子どもの本の役割について解説されたほか、読み聞かせの実演もされました。

また、講義・演習では、読書の入り口を広く入りやすいものにするため、アニメーション等を取り入れた多様な取組について紹介されました。

他に、子ども読書活動推進の背景について系統的な理解を図るため、関係法令や北海道教育委員会の取組について説明しました。

日頃聞く機会が少ない内容について理解を深め、また、子どもに読書の楽しさを伝える具体的な手法に触れることができたといった感想が多数寄せられました。

### 【地域資料】

○期日：平成24年12月13日（木） ○会場：函館市中央図書館 ○参加人数：28名

○日程：

講義 1「収集・発信・保存 明日から始める地域資料の取り組み～地域資料に関する実態調査から～」

北海道立図書館北方資料室長 鈴木 浩一

テーマ討議「すぐに始めよう 地域資料のヒントあれこれ」

北海道立図書館北方資料課主査 一戸 泰

情報提供「先進事例に学ぶ地域資料と情報の活用」

北海道立図書館企画支援課長 宮本 浩

講義 2「北海道で集めよう 北方資料室と市町村立図書館・図書室との協力を」

北海道立図書館北方資料室長 鈴木 浩一



「まちを元気にする地域資料のこれから」をテーマとして、当館が実施した「地域資料に関する実態調査」の結果から、道内市町村立図書館（室）の様々な取組みや「地域の情報拠点」として取組まれている道内外の公立図書館の事例を紹介しながら、地域ならではの情報をいかに集め、住民に提供し、まちづくりに役立てるかを考えました。

テーマ討議では、参加者からの現状報告を元に、何をどう改善してこれからの地域資料サービスを向上させるのかについて協議しました。

最後の講義では、当館北方資料室がこれまでに果たしてきた役割とこれからのについて、資料のデジタル化や有機的に連携した地域資料の収集と活用についてお話ししました。

事後アンケートでは、「地域資料に対する、自分の考え、価値観、偏見が変わった」「現在（今）の地域資料を収集し、PR、活用していくことが大切で、懐古主義のみならず、新しい可能性を含んだ“まちの財産”であることを感じる事ができた。」などの声が寄せられました。

## 【関係法規】

○期日：平成25年1月25日（金）

○会場：北海道立図書館

○参加人数：23名

○日程：

講義1「変わり続ける法律・著作権法」

北海道立図書館企画支援課主査 工藤 嘉一

講義2「図書館法とその周辺」

北海道立図書館利用サービス部長 金山 聖子

事例研究「こんなときどうする著作権法」

北海道立図書館資料課主査 中田 こずえ

北海道立図書館企画支援課主査 工藤 嘉一



公立図書館は、「図書館法」をはじめとする様々な法規に基づいて活動しています。

本研修では、「知っておきたい図書館関係法規」をテーマとして、関係する法規の中から、図書館と関わりの深い「著作権法」や、図書館の理念を形成する「図書館法」とその周辺情報について学ぶためのカリキュラムを組みました。

講義1では、「著作権法」が頻繁に改正される理由と最近の改正点、図書館に関わる条文について、講義2では、「図書館法」や周辺情報を通じて、公立図書館の理念や役割を学びました。

事例研究では、参加申込み時に寄せられた“困った事例”や質問を元に、情報交換や助言を行いました。この困った事例や質問事項は予想以上に多く、日頃著作権法について疑問に思っていることが多いことが伺えます。アンケート結果からも、参加者の学ぶ意欲の高さが感じられました。

今後も、関係法規の改正等の動きに注視して、共に学ぶ機会をつくっていききたいと思います。

## 【レファレンス】

○期日：平成25年2月14日（木）

○会場：北海道立図書館

○参加人数：26名

○日程：

事例研究「すぐに使えるレファレンス・ツール 暮らし・地域編」

①法令・判例調査のポイント

北海道立図書館利用サービス課主査 工藤 尚子

②産業（農業・畜産等）情報を中心に

北海道立図書館利用サービス課主査 原 美代子

③医療・健康情報等を中心に

北海道立図書館利用サービス課企画主幹 加藤 ひろみ

講義・演習「経済産業情報の調べ方（図書館によるビジネス支援）

ツール紹介編 初級 国立国会図書館利用者サービス部科学技術・経済課副主査 齊藤 史氏



「課題解決型サービスに活かす情報源」をテーマに、知っておきたい情報源を内容とするプログラムを組みました。

当館職員が講師を務めた事例研究では、それぞれの分野でのインターネット情報源の紹介とデータベースの活用方法を中心に解説しました。

後半は、国立国会図書館の派遣講師による経済産業情報の調べ方について、レファレンス・ツールやレファレンス・プロセスの紹介を中心に講義し、パソコンを用いた演習も行いました。

難しく感じる分野の研修でしたが、参加者からは、「調べ方の手順が良く分かった」「実用的なツールを紹介していただき、大変ためになった」等の感想が多く寄せられました。

また、あまり聞く機会がない国立国会図書館職員の講義を受講出来たことも好評でした。

（企画支援課）

## 一般向け開催講座

平成24年度、利用サービス課では道民カレッジと連携した次の講座を開催しました。

### ■暮らしに役立つ図書館活用術

日時：平成24年6月20日（水）13：30～16：00

会場：北海道立図書館

当館を含めた公共図書館で行っているサービスや、図書館で本を探すための注意点、当館の蔵書検索を使った検索方法など、図書館を利用する時知っている便利なことを説明しました。

### ■わかりやすい健康に関する情報講座

日時：平成24年6月30日（土）13：30～15：30

会場：紀伊国屋書店札幌本店1階インナーガーデン

北海道医療大学と連携し、同薬学部教授唯野貢司氏による講演「薬と副作用について」と、当館職員による解説「健康情報を入手するための図書館活用術」を行いました。

参加者66名。唯野氏の講演後の質疑応答では、サプリメントとの飲み合わせや市販の風邪薬を常飲している場合についてなどの質問が出され、活発な講演となりました。

### ■インターネット活用術（1） 検索エンジンを上手に使う

日時：平成24年11月15日（木）13：30～16：00

会場：北海道立教育研究所附属情報処理センター

情報処理センター実習室の研修用パソコンをお借りし、受講者に検索エンジンを使っての検索を実際に行ってもらいながら講座を行いました。普段使っていても意外と知られていないGoogleの便利な検索方法など、好評でした。

### ■インターネット活用術（2） 図書館員が選んだお役立ちサイト

日時：平成24年11月22日（木）13：30～16：00

会場：北海道立教育研究所附属情報処理センター

1回目と同じ会場で、当館が選んだ本の出版情報や本屋・図書館の在庫検索など、本を探すに当たってのお役立ちサイトを紹介。受講者にも紹介したサイトを体験してもらいました。

(利用サービス課)



わかりやすい健康に関する講座



インターネット活用術（2）図書館員が選んだお役立ちサイト

続いて北方資料課では、次の事業を開催しました。

## ■ 書庫ツアー「あなたもタイムトリップ 北方資料の世界へ」

### 「北方資料室書庫探見 鉄道資料で見る北海道の歴史」

5月18日、書庫ツアー入門編「あなたもタイムトリップ 北方資料の世界へ」を開催しました。参加者は23名で、普段は入ることが出来ない書庫を巡りながら、近世から現代までの多様な北方資料を紹介しました。また、2月15日には北海道の鉄道をテーマにした「北方資料室書庫探見 鉄道資料で見る北海道の歴史」を開催しました。参加者は23名で、田辺朔郎鉄道資料や梅木文庫など関連する貴重なコレクションを中心に、書庫を御案内しました。

## ■ 第10回資料で語る北海道の歴史講演会「古書店から見た北海道 古本屋つれづれ」

9月8日、サッポロ堂書店店主の石原誠氏を講師にお迎えし、参加者40名での開催となりました。古書店業にまつわるお話や、目録作りや出版に対する思い、研究者との関わりなどについてのお話のほか、石原氏が所蔵する生原稿などの貴重資料の紹介もあり、盛りだくさんの内容となりました。

## ■ 第11回資料で語る北海道の歴史講演会「島義勇と北海道開拓」

11月17日、北海道史研究協議会のご協力により、札幌市文化資料室職員の榎本洋介氏を講師にお迎えし、参加者51名での開催となりました。著書『島義勇』執筆をめぐる調査研究を通しての発見や、島義勇の都市構想等について、資料や画像を多用した大変興味深い講演となりました。

## ■ 朗読会「北海道ゆかりの文学を読む」

12月2日、NHK文化センター講師の松井信子氏による構成・演出、朗読の会北こぶしの朗読で開催しました。佐藤忠良「北海道少年期」など、耳で触れる北海道ゆかりの文学作品を36名の参加者が堪能しました。また、12月1日～27日の間、北方資料展示コーナーで関連展示「北海道の文学を読む」を開催しました。

## ■ 「高山美香さんのちまちま人形のせかい」トークショー

2月1日～27日の間、当館で開催した「高山美香さんのちまちま人形のせかい」展。人形の作者でイラストレーターの高山美香さんをお迎えし、2月11日、73名の参加者により開催しました。絵を描くことが大好きだった子ども時代から、イラストレーターとなり、ちまちま人形制作に至るまでのお話や、資料を調べて知った偉人たちのエピソードなど、楽しいトークショーとなりました。

(北方資料課)



「古書店から見た北海道」



「島義勇と北海道開拓」



高山美香さんトークショー

## 市町村図書館職員レファレンス体験研修

レファレンスサービス（調査相談業務）は、貸出しとともに図書館サービスの大きな柱です。図書館の蔵書やネットワーク資源を有効に活用して、道民の皆さんの多様なニーズに対応し、役に立つ図書館であるためには、担当職員のレファレンス・スキルの向上が不可欠です。平成13年度から開始した本研修は、実務経験1年以上の市町村図書館職員を対象に、受講者が希望する期間及びプログラムによりマンツーマン形式で行っています。職員のスキルアップを図ることでレファレンスサービスの向上に資するもので、現在まで184名が修了しました。研修期間は概ね1日以上、希望の日時で1回につき2名以内、会場は当館事務室や閲覧室、講師は当館利用サービス課員（地域資料は北方資料室員）が交代で務めます。

今年度は5回開催の予定でしたが、嬉しいことに応募が相次ぎ、日程を調整し7館（江別市、小樽市、石狩市、帯広市、中札内村、根室市、新冠町）から研修者を迎えました。下記のプログラム例から選ぶ方が多いのですが、「新人や実習生にどのようにレファレンスを教えたらいいか」「職場全体でスキルアップしていくには」「ビジネス支援について」といった新たな要望もあり、当館職員にとっても事前準備や講師を担当することが、自身の研修になっています。

希望とは別に毎回行っているのが「事前課題」です。まずは自館の蔵書を熟知し使いこなすことが肝心であり、レファレンスの問題を事前に送り、自館資料で回答してもらいます。また、今年度は特に情報交換の時間を大切にしました。市町村の現場の取組や、苦労などをお聞きするとともに、当館の事情も知っていただくことで、相互理解が深まります。

この研修が現場で活かされ、今後の利用につながることを願うとともに、私達も常に成長しなければと、参加者の意欲的な研修への姿勢に触れるたび、大いに刺激を受けています。

<※当館レファレンス通信『Do-Re 50号』掲載、今年度研修者からの寄稿も併せて御覧ください。>

### — プログラム例 —

- 1 道立図書館におけるレファレンスの流れを知る（受付から事後処理まで）
- 2 レファレンス・ツールの評価と利用（例：地名、人名、法令、判例、統計、国語辞典、または全般的な基本ツールの検証等）
- 3 インターネットを利用したレファレンス（Do-Linksの使い方など）
- 4 レファレンス・インタビュー（利用者の質問を受けるスキル）を工夫する
- 5 相互貸借（道内・道外）のルール情報
- 6 科学技術資料、医療・健康情報、法令・判例、統計の調べ方など
- 7 有料データベース体験（Lexis AS ONE、J-DreamII、ルーラル電子図書館、CiNii、magazineplus、日経テレコン21、官報情報検索サービス）
- 8 道立図書館の参考図書で調べる課題演習
- 9 書誌的事項、出版情報の確定方法（データベースを中心に）
- 10 課員との情報交換
- 11 地域（郷土）資料で調べる ※北方資料室が担当

（利用サービス課）

## 展示を振り返って

今年度の一般資料の展示は、道民の皆様の関心のある事柄や、多様化する利用者ニーズに合わせたテーマを選び、エントランスホールや児童コーナー及び閲覧室（窓辺の本棚）で合計30回行いました。

コーナー別に展示の主なものを紹介します。

### ■ エントランスホール 「オリンピック物語」6月1日（金）～8月30日（木）

昨年はロンドンオリンピックで日本中が大いに盛り上がりました。この4年に一度のスポーツの祭典に合わせて、オリンピック憲章や様々な競技種目の紹介、日本のメダリストたちの名言とともに、大会の開催地であるロンドンについての本なども紹介しました。当館の資料展示はホームページで紹介をしているため、各地の図書館等からの問い合わせも多く、展示を行う際の参考にしたいとの声も寄せられました。

### ■ 児童コーナー 「地球にやさしく～ぼくたち、わたしたちが地球を守る～」

9月1日（土）～9月27日（木）

9月10日（月）に道立教育研究所で行われた「北海道環境学習フェア2012」に合わせ「環境問題」をテーマに、どうして環境問題が起きるのか、わたしたちに何ができるかを理解するための本を展示しました。マスコミなどで環境問題が多く取り上げられている昨今、児童だけでなく多くの大人の方達も興味を持って読まれていました。

### ■ 窓辺の本棚 「ボランティアおすすめの本」11月1日（木）～11月29日（木）

毎年、読書週間に合わせて、当館で活動しているボランティアさんによる“おすすめの本”を紹介する展示を行っています。

ボランティアさんの活動は、主に書庫への返本作業が中心となり、日々触れている本の中から、来館者に読んでもらいたい本を展示により紹介する人気の企画です。来館者にも好評で、多くの方が実際に手に取ってお読みいただいている姿が見られました。



(利用サービス課)

今年度、北方資料室では資料展示を計13回実施しました。

北方資料室で所蔵する資料のほとんどは、一般の方が入ることのできない書庫に収納されているため、資料を展示という形で紹介するとともに、それをきっかけに資料に関する情報提供を受けたり、資料の寄贈にもつながっています。

今年度は以下の展示を行いました。

#### ■ 北方資料展示コーナー

- 4月 3日～ 6月28日 「生誕100年 佐藤忠良の世界」
- 7月20日～ 8月 5日 「舞台は北海道・映画をみなくちゃ生きていけない！」
- 8月14日～ 9月 5日 「戦争の記憶を語り継ぐ～北海道空襲・艦砲射撃～」
- 9月11日～11月29日 「古書で巡る北海道」
- 12月11日～12月27日 「北海道ゆかりの文学を読む」
- 1月 4日～ 1月30日 「ご当地カルタでまちを知ろう！」
- 2月 1日～ 2月27日 「高山美香さんのちまちな人形のせかい～あの偉人も愛すべき人だった～」
- 2月15日～ 2月27日 「鉄道資料で見る北海道の歴史 PART1」
- 3月 1日～ 4月21日 「北海道のテレビラジオ～こんな時代もあった～」

#### ■ 北方資料室内ミニ展示コーナー

- 4月24日～ 5月12日 「こどもの読書週間 えほんのどうぶつえん」
- 5月17日～ 3月31日 「北方資料室文庫本コーナー」
- 10月12日～11月29日 「満喫しよう北海道～いろんな秋みつけた！～」
- 10月27日～12月27日 「北海道にまつわる本をよんでみよう」

今年度は、映画・文学など、身近なテーマを取り上げた展示が多かったこともあり、懐かしい記憶とともにじっくりと御覧いただいていたように感じられました。また、講演会や書庫ツアーといったイベントに併せて資料展示を行いました。参加された方々にはさらに興味を抱いていただく契機となったのではないかと思います。御来館される方々に、少しでも北方資料を身近に感じていただけるよう、平成25年度も、さまざまな展示を実施する予定です。

(北方資料課)



「北海道のテレビ・ラジオ～こんな時代もあった～」から  
“草創期”の「STV タイムス」「HBC ウィークリー」等



「満喫しよう北海道～いろんな秋みつけた！」

## 平成24年度 全国優良読書グループ表彰・優良読書グループ北海道表彰

北海道読書推進運動協議会

(社)読書推進運動協議会では、「読書週間」事業の一つとして、全国優良読書グループ表彰を実施しています。北海道読書推進運動協議会においては、全国表彰への推薦と合わせて、独自に北海道表彰を行っています。

受賞された各グループの活動内容などを紹介します。

### 全国表彰（1団体）

#### ■ 読書サークル「ライラックの会」 知内町 昭和58年設立

今年で設立30年になります。設立当初は月1回の集団読書を行うのが主な活動でしたが、3年目からは、幼児から小学校低学年を対象にした読み聞かせを始め、絵本はもとより、手作りの人形劇や影絵、エプロンシアター、ペープサートなどを始めました。また、お正月にはカルタや福笑いなどの昔遊びを行ったり、簡単な工作や折り紙を取り入れるなど、季節に合わせた遊びを取り入れるなどの工夫もしています。

その他にも、「ブックスタート」や「しりうち読書まつり」、学校での「ブックフェスティバル」など教育委員会主催の事業へも積極的に協力し、PTA連合会の読み聞かせ講座の講師などを務めることもありました。

年に1回、毎月読む本の感想文、更に会員のエッセイを掲載した手作りの文集「らいらく」を発行し、会の記録を残しています。

長年にわたり、さまざまな活動で、地域の子どもの読書推進に努めている点が高く評価されました。

### 北海道表彰（5団体）

#### ■ おたる子ども劇場 人形劇サークル「ぐう ちょき ぱあ」 小樽市 平成2年設立

我が子と一緒に人形劇やコンサート等を鑑賞していた主婦たちが、自分たちでも人形劇を上演するグループを発足させました。

絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアター、パネルシアター等を月1回図書館で実施するほか、幼稚園や保育所で人形劇を年4回実施。台本や舞台装置、人形など全て自分たちで制作しています。

全ての活動において、子どもたちが物語に楽しみ、本に興味をもつ環境づくりに主眼を置き、活動を進めています。

#### ■ 函館朗読奉仕会 函館市 昭和50年設立

図書館の講座参加者が中心となり、図書館の視聴覚障がい者奉仕活動ボランティア団体として発足しました。朗読テープの作成、対面朗読、児童劇や放送劇の朗読録音など、朗読奉仕活動を35年以上続けられており、これまでに約5千点の朗読テープを作成しています。

そのほか読書や函館ゆかりの文学に関する講演会を行うなど、読書活動の推進およびまちづくりに、多大な貢献をしています。

#### ■ おはなしの会「どんぐり」 富良野市 平成16年設立

発足以来8年間にわたり、市立図書館において毎週おはなし会を開催しています。そのほかクリスマス会の実施、小学校における読み聞かせなど、読書推進イベントを実施しています。

図書館で購入する絵本の選定にも関わり、継続的に情報提供や支援を行っています。

#### ■ 布の絵本サークルひよこひよこ 芽室町 平成2年設立

図書館主催の「布の絵本づくり講習会」に参加した方が中心となり発足しました。

毎月の例会で布の絵本を製作し、平成24年7月現在、図書館蔵書作品数は186冊に及びます。平成5年からは貸出しもしており、町内の保健福祉センターや老人施設にも貸出すなど、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢の方が楽しめる作品製作を行っています。

#### ■ 読み聞かせサークル おはなしの木 中標津町 平成6年設立

自分たちで読み聞かせをしたいという思いを持ったお母さんたちが集まり、図書館で読み聞かせを始めたのと同時に会を結成させました。

以後、小学校や保育園、子育て支援スペースなどで、ブックスタートや地域のイベントへの参加など、読み聞かせを通じた地域での活動に大いに貢献しています。

### 北海道表彰・北海道地域活動振興協会理事長賞（3団体）

#### ■ 読書サークル兎の眼 仁木町 昭和57年設立

読書を通して互いに成長できるよう視野を広げ、地域の文化意識の向上に寄与することを目的に設立され、月1回の例会で集団読書と町の図書室の運営手伝いを行っています。

近年では町のブックスタートなどの事業で絵本の読み聞かせも行うなど、長きに渡り地域の読書推進に貢献しています。

#### ■ 館浦婦人会読み聞かせの会 乙部町 平成14年設立

婦人会の活動をする中で「子どもたちに絵本の楽しさを伝えたい」との声があがり、読み聞かせの会が発足しました。

以来、公民館図書室や小学校での読み聞かせや工作会の実施、高齢者施設では、読み聞かせのほかに昔遊びや童謡を歌うなど、幅広く活動しています。

#### ■ 愛別絵本読み聞かせ会 愛別町 平成元年設立

設立当初は、参加する会員らが自分の愛読書を持ち寄って朗読をしていました。

現在は公民館図書室の蔵書を中心に、読み聞かせ、赤ちゃん絵本の紹介、ゲームやパネルシアターなどを行っています。町の読書推進計画である「夢ひろがり活力あふれる豊かな教育の創造」の実現のため、ブックスタートや読み聞かせ講座、文化祭など、町のあらゆる社会教育事業において、積極的に尽力しています。

(企画支援課)

## 平成24年度北海道立図書館協議会

今年度の協議会は、次のとおり開催しました。

- ・ 第1回 平成24年7月13日（金） 北海道立図書館会議室
  - 議題1 平成23年度業務実績について
  - 2 北海道立図書館事業推進計画について（達成状況）
  - 報告1 新「北海道立図書館事業推進計画」（素案）について
  - その他
- ・ 第2回 平成24年11月15日（木） 北海道立図書館会議室
  - 議題1 会長及び副会長の選出について
  - 2 平成24年度の活動状況について
  - 3 新「北海道立図書館事業推進計画」の策定について
  - 4 その他
- ・ 第3回 平成25年3月14日（木） 北海道立図書館会議室
  - 報告1 「北海道立図書館事業推進計画（平成25年度～29年度）」について
  - 2 「北海道立図書館資料収集計画」（平成25年度～29年度）について
  - 3 その他
  - 議題1 「平成25年度北海道立図書館運営計画」（案）について
  - その他

■ 今年度は図書館協議会委員の改選期にあたり、10名の委員のうち会長を始め7名が新しく就任しました。また、7月中旬から8月末日までホームページや報道機関等を通じて委員を公募したところ、全道から8名の応募があり、選考の結果、2名の方を委員として迎えることとなりました。応募してくださった方々に厚くお礼申し上げます。

任期は、平成24年11月1日から平成26年10月31日までの2年間です。

■ 平成25年度を初年度とする「北海道立図書館事業推進計画」案について、昨年度第3回協議会から引き続き議論を積み重ね、本年3月の協議会において生涯学習課と連名で策定した内容を報告することができました。

この5か年間の推進計画をもとに各年度の運営計画を策定し、翌年度の業務実績により事業の評価・検証を行い、図書館運営の改善を図っていきます。

■ 「北海道立図書館協議会」の情報は、当館ホームページに掲載しています。

[\(トップページ>道立図書館について>道立図書館協議会\)](#)

(管理課)

## 資料紹介～図書館学関係資料から～

平成25年度から、新しい「北海道立図書館資料収集計画」が実施されます。

これまでの収集計画の中でも、優先して収集するという姿勢のもと、図書館経営に役立つ資料として形づくられてきた図書館学関係資料ですが、こういった資料が御存知でしょうか。

難しい本ばかりと思われそうですが、堅苦しいものばかりではありません。

その中から平成24年度に購入した、意外と知られていない図書館学関係資料を紹介します。

### 書店員あるある 書店員あるある研究会著 廣済堂出版 2012

「平積みの下の方から本を取り出して買っていく」「求人誌の表紙の笑顔と、買っていくお客様の顔に落差がありすぎる」など、思わず笑って頷いてしまうあるあるネタ400本を、イラストをまじえた読みやすい構成で紹介する一冊。

### すべては今日から 児玉清著 新潮社 2012

「パネルクイズアタック25」の司会者として知られる児玉清の一周忌に贈る遺稿集。

読書家であった著者の書評やエッセイをまとめた最後のメッセージ。

### この絵本が好き！

#### 2012年度版

別冊太陽編集部編

平凡社 2012

絵本好き約100人を対象としたアンケートをもとに、2011年に刊行された絵本の中からベスト22を発表。絵本リストや作家紹介も掲載。

### 読むのが怖い! z 北上次郎, 大森望著

ロッキング・オン 2012

『ゴールデンランバー』『小暮写真館』『ジェノサイド』など、2008年から2012年までに出版された169冊を、仲が良いのに気が合わない2人の書評家が徹底解説。

### 復興の書店 稲泉連著 小学館 2012

街の本屋が少なくなっている昨今、東日本大震災によって物流の遮断された絶望的状况の中、営業を再開した書店には朝から長蛇の列ができた。

電子書籍が普及しつつある今、本の尊さを再確認できる一冊。

### ダ・ヴィンチ

メディアファクトリー 月刊

御存知の方も多い書評雑誌、実はこれも図書館学関係資料です。

(館内閲覧のみ)

気になる作品はあったでしょうか。今回紹介した資料は当館一般閲覧室カウンターに向かって左手奥にある図書館学資料閲覧室に所蔵されています。ぜひ御利用ください。

(資料課)

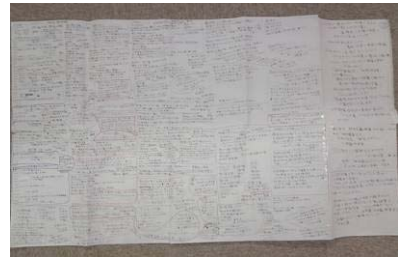
## 図書館を暮らしに生かす ～高山美香さん(札幌在住イラストレーター)の図書館活用術を例に～

今号表紙等に取り上げた高山さんは、札幌在住で、普段は当館を始め、札幌市内の図書館や江別市情報図書館をよく利用している図書館の達人です。ちまちま人形作成や、朝日新聞金曜夕刊の連載（H23.4～25.3）「北の文人 立ち話」執筆に欠かせなかった「図書館の活用」について伺ったお話のごく一部を紹介します。

### 人形制作や「北の文人 立ち話」執筆のポイント・・・人物を「知り尽くす」！

「その人物がどんな人物だったのか、とことん『知る』ことから始めるため、伝記や関連本を、図書館をはしごして大量に借りて読みます。借りられない本はコピーを取ったり。」

本の中に出てくる人物の性格やくせなど、イメージのポイントとなる記述を、ひたすらメモに取り、数十枚になったメモを1枚にまとめて書き直すので、人物によっては、それがすごく大きなものになります。(写真)



メモをまとめた紙。大きさ 60cm×90cm！

「人形を作る時は、肖像画があったとしても、白黒だったり、正面の写真しかない場合がほとんどなので、後ろの髪型がどうなっているかだとか、色などは、何冊もの本を見て、参考になるものを探します。」

人物の目や髪の色などは、児童書が参考になるのだとか。「緑色の目の女の子が生まれました。」などの記述があることも多いそうです。さらに服装や小物については、その時代の風俗がわかる本などを見て、研究するそうです。

### 大事なのは「資料があること」!!

朝日新聞の連載記事「北の文人 立ち話」で特に気を使ったのは、「作家の経歴等に間違いがないように」ということで、どの本にどの記述があったかは、しっかりメモを取り、御自分で年表も作ったそうです。

「毎週どの方を取り上げるのかも悩みどころでした。北海道には、まだ知られていなくても興味深い作家がたくさんいます。でも、『こんなに北海道と縁があるのに、これだけしか資料が残されていないのだろうか?』ということも。インターネットでは、全然調べがつかなかったり、あちこちのサイトで転用されている内容だけだったりすることもあるので、やっぱり『図書館にきちんと資料があること』は、すごく大事ですね。」



イラスト：高山美香さん

高山さんのお話は、文豪や偉人のこととなると、その人物の細かいくせや気性、小さなエピソードなど、尽きることなく続きます。また、仕事はあくまでもアナログにこだわり、手書きで資料をまとめ、手で人形をつくり、手でイラストを描くことにしています。「1点1点真正面から資料に当たっていく」ことで、より偉人や文豪に近づけるのかもしれない。

「北の文人」の資料収集のお話では、「北海道に係る資料は、北海道で収集、活用、保存していく」という、当館北方資料室の役割について改めて再認識させていただきました。

北海道で暮らす中で、様々な課題を解決し、生活を豊かにするためには、北海道の資料が「あること」が大事です。北方資料室では、これからも市町村立図書館等や様々な機関と協力しながら、図書館の基本的な役割である「集める」「保有する」「提供する」を果たしていきたいと思います。

(北方資料課)

## まちの文化・芸術活動の中心に

池田町立図書館主任 阿部 陽介

池田町立図書館は、平成24年10月2日（火）に、池田町総合体育館と池田町田園ホールに隣接する旧勤労青少年ホーム跡へと移転し、リニューアルオープンしました。

旧図書館は、昭和63年に旧検察庁舎を改修し開館した施設で、総床面積198㎡と広さでは十勝管内でも低い順位の図書館でした。



新しい図書館は、旧施設の約2.5倍の面積があり、開架スペースには44,000冊の図書を排架しています。以前は1か所だった閲覧コーナーは、児童書・一般書・雑誌類とコーナーごとに設けてあり、読書する方だけでなく、中高生の皆さんが勉強する姿が見られるようになりました。また、AVコーナーやインターネットコーナーを設けたほか、絵本コーナーには扉を付けることで、親子などが声を出しての読み聞かせができるようになりました。絵本コーナー横には、幼児専用のトイレや授乳室を設置し、小さなお子さん連れの方でも利用しやすい施設として整備されています。

館内には、イベントや関係団体の会議等が行える多目的室があり、旧施設では近隣施設で開催していた図書館イベントを、館内で行うことができるようになりました。開館以来、10月にハロウィンカボチャ作り、12月にクリスマスリース作り、そして2月には節分・鬼のお面作りなど、季節ごとの催しを計画し、利用者の皆さんに楽しんでいただいています。

新図書館は、隣接する総合体育館と出入口を共有しています。そのため、体育館利用者が図書館に立ち寄りやすく、スポーツ少年団に通う子どもたちの利用が増え、今まで比較的少なかった小学生男子の利用数が増えています。また、同様に町外の方の利用も増え、移転前に比べて10～12月の平均来館者数は約1.7倍、利用数は約1.3倍になりました。

図書館の南側には、芸術文化施設の田園ホールがあり、定期的に演奏会や講演が行われているほか、イベント広場として「こども祭り」や「ふれあいまつり」、「池田町女性フェスティバル」などが盛大に行われます。例年、ボランティア団体による絵本の読み聞かせなどが同イベントで行われてきましたが、図書館が隣接することで、今後は図書館イベントを共同開催するなど、催しを共有することで相乗効果による利用促進に期待しているところです。



池田町では現在、総合体育館と田園ホールを指定管理者による運営を行っています。併せて4月から、図書館についても同様の指定管理者に運営を移行し、3館一体での運営を予定しています。十勝管内では初となる指定管理者の図書館運営では、民間企業の柔軟な発想と3施設の相互扶助による体制を十分に発揮し、開館時間の延長などサービスの向上を目指しています。新図書館の移設による体育及び文化施設の集約化、また3館一体での指定管理者運営により、池田町の文化・芸術・スポーツ活動の中心として大いに活躍が期待されています。

## 平成25年度 事業計画

月	上 旬	中 旬	下 旬
4			子ども読書の日(23日) こどもの読書週間(4/23～5/12) 北函振第1回理事会・総会(25日 札幌市)
5	書庫ツアー(子ども向け)(3日)		道民カレッジ連携講座(25日) 北読進協 総会(札幌市)
6	北海道図書館新任職員研修会 (6～7日 当館) 道民カレッジ連携講座(8日)		北日函連 北日本図書館大会 (20～21日 仙台市)
7	発見!体験!森林公園スタンプラリー(7/6～9/8)	北海道図書館中堅職員研修会 (11～12日 当館) 第1回北海道立図書館協議会	書庫ツアー(30日)
8			
9	北函振 北海道図書館大会(5～6日 札幌市)		道民カレッジ連携講座(28日)
10		北函振 全道図書館研究集会 (10～11日 当館)	日図協・北日函連 全国公共図書館研究集会 総合・経営・サービス部門、北日函連研究協議会(24～25日 山形県村山市) 読書週間(10/27～11/9) 文字・活字文化の日(27日) 北読進協 優良読書グループ表彰
11	書庫ツアー(3日) 第2回北海道立図書館協議会	北函振第2回理事会・全道図書館長会議(14日 札幌市) 道民カレッジ連携講座	日図協 全国図書館大会(21～22日 福岡市) 北函振 専門研修(経営/企画・広報)(28日 遠軽町)
12	北学図 青少年読書感想文全道コンクール及び北海道指定図書読書感想文コンクール(1日 札幌市)	北函振 専門研修(サービス/資料保存)(11日 滝川市)	
1	北学図 北海道学校図書館研修講座(7～9日 札幌市)		北函振 専門研修(サービス/地域資料)(23日 当館)
2	書庫ツアー(6日)	北函振 専門研修(子ども読書/活性化)(13日 当館) 道民カレッジ連携講座	
3		第3回北海道立図書館協議会	

※ 上記の日程は変更になる場合があります。

<凡例>

- ・北函振・・・北海道図書館振興協議会
- ・北日函連・・・北日本図書館連盟
- ・北読進協・・・北海道読書推進運動協議会
- ・北学図・・・北海道学校図書館協会
- ・日図協・・・日本図書館協会
- ・全公図・・・全国公共図書館協議会

## 平成25年度 展示計画

当館では、1階エントランスホール、中2階北方資料室入口で展示を行っています。

平成25年度は次のとおり計画しています。

月	1階エントランスホール	中2階北方資料室
4月	ロマン派音楽の世界 ～ワーグナー&ヴェルディ生誕200年～	北海道のテレビ・ラジオ～こんな時代もあった～
5月		北海道のお菓子ヒストリー
6月		
7月	テレビ放送60年の軌跡	
8月		羊と北海道
9月		
10月	叙情画家中原淳一と その時代展	
11月		
12月		このほかにも、北方資料室では、 年間を通じて所蔵資料を紹介する 展示を行う予定です。 御来館の際はどうぞ御覧ください。
平成26年 1月	芥川賞受賞作品展	
2月		
3月	少女たちの夢舞台、	
4月	宝塚100周年	
5月		

これらのコーナーのほかにも、北方資料室内、閲覧室（窓辺の本棚）、児童コーナーなどで随時展示を開催します。毎月の展示につきましては、当館ホームページ「今月の展示」で紹介しています。

ここをクリック

当館ホームページのトップページ

## 掲示板

### 〈貸出文庫の御案内〉

北海道立図書館では、道内市町村向けの読書活動支援事業の一環として「貸出文庫」の提供を行っています。これは図書を10冊1セットとし市町村の図書館を通じて、各自治体の読書サークルに貸出しを行う事業です。貸出しを御希望の際は、利用サービス課までお申し込みください。なお新規タイトルのリクエストも可能ですので、こちらは資料課までお申し込みください。皆さまの御利用をお待ちしております。

#### ～平成24年度新規受入タイトル～

こちらあみ子	今村夏子／著	筑摩書房	2011
白樫の樹の下で	青山文平／著	文藝春秋社	2011
人間の基本	曾野綾子／著	新潮社	2012
蝸の記	葉室麟／著	祥伝社	2011
羊に名前をつけてしまった少年	樋口かおり／著	ブロンズ新社	2011

### 〈大活字本 平成24年度新規受入タイトル〉

中国畸人伝 上,下	陳舜臣／著	埼玉福祉会
日本人の手紙 第1巻～第10巻		リブリオ出版

### 〈Twitter 開始のお知らせ〉

当館のイベントや展示、ホームページの更新情報などをつぶやきます。ホームページ右下にあるバナーからもリンクしていますので、どうぞ御覧ください。



#### 北海道立図書館報 第194号

平成25年3月28日発行

北海道立図書館長 岸 豊

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL 011-386-8521 (代表)

FAX 011-386-6906 (利用サービス部)

388-2063 (総務企画部)

E-mail: gyomu@library.pref.hokkaido.jp

H P: http://www.library.pref.hokkaido.jp